

にいがた労福協

〈ライフサポートセンター〉

No.33 2018年4月16日発行
 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
 〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
 Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
 E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp
 URL http://www.niigataken-roufukukyo.com/
 発行責任者 間 英輔

米山新潟県知事要請行動 勤労者福祉に関する項目について申し入れ

1月29日（金）県労福協は、米山知事を訪問し労働者福祉に関する要請書を提出しました。

要請内容は、①東日本大震災の被災者・避難者支援、②格差・貧困の是正、セーフティネットの強化、③「奨学金問題」の改善に向けて、④勤労者の雇用維持・離職対策、⑤フードバンク活動の促進、の5項目です。

要請のポイントは

①厚生労働省「社会保障審議会」の生活困窮者自立支援及び生活保護部会において、平成30年の法改正に向けて論議され出される。改正案が、時間と空間のより大きな広がりの中でさらに活かされるものとなるよう、今後の国会論議を注視していただき、より現実に即した改正となるよう新潟県として可能な限り対応を願いたい。

②子ども食堂に対しても2017年度603万円の予算措置が行われたが、申請書類が大変複雑で申請に躊躇している実態があるので、可能な限り簡素化された申請手続きに変更願いたい。併せて支給額についても現状の1件当たり20万円の増額を求めたい。

③フードバンクの認知度向上の具体的な取組として、新潟県の入り口（受付）周辺フードドライブ可能なスペースを確保していただきたい。（フードバンクの職員と受付ボックス・ポスター掲示）、20.

10・0運動（食べ残し0運動）、「もつたい

ない」食料の大切さを啓もう活動として取組ながら、賞味期限前の食材を提供していただけるシステムにつなげてほしい。

米山知事からは、

「県としてできることをしっかりと進めます。フードバンクのPRは方法を相談（県労福協）しながら検討したい」との前向きな回答がありました。

【出席者】

新潟県・米山知事、土田福祉保健課長、杉山廃棄物対策課長、平松食品・流通課長、火宮労政雇用課長

野塚副理事長、斎藤理事長、江花副理事長、小

【3月30日 新潟県より回答書が送付されました。
労福協ホームページに掲載しております。】



13番目の新規会員加入

総合生協の宅配 KuruCo から

copekuro

私たち、これからも、組合員の協同の力で毎日のくらしと健康を守り、食の安全と安心にこだわり、生活協同組合でしかできない県民への貢献を目的に活動していきます。

素敵な特典がいっぱい！ クルコの説明を希望される方には
もれなくプレゼント！

新規ご加入キャンペーン実施中！

キャンペーン詳細はcopekuroホームページへ！ QRコードからもアクセスできます。

copekuro

2018年3月13日開催の第117回労福協理事会において、「生活協同組合コープクルコ」（理事長 山口栄）が13番目の会員として承認されました。

総合生協の組織改編により、今までの総合生協クルコ事業を「生活協同組合コープクルコ」が引き継ぐことになり、今回新規に加入頂くこととなりました。

労福協の取組む各事業の強力なパートナーが増え大変うれしい限りです。今後も貪欲に会員の拡大を追求します。

労福協の取組む各事業の強力なパートナーが増え大変うれしい限りです。今後も貪欲に会員の拡大を追求します。

地区労福協 代表者会議で意見交換



区労福協の実態と課題（ライフサポートセンター事業含む）、②2018年度各地区活動について（ライフサポートセンター含む）を、各地区的代表者から報告していただき全体で論議しました。

次年度以降は、特に、地区労福協活動とライフサポート事業の在り方に於いて、将来展望も含め論議が必要との確認を行いました。長年取り組んできた事業であり地域実情も踏まえつつ、労働者福祉活動の前進につながる論議を、2018年度早々に検討する必要があるとの認識を確認しました。

3月3日（土）、新潟市万代シルバーホテルにおいて、2017年度地区労福協代表者会議を開催しました。

代表者会議では、①2017年度各地

3月1日（木）・2日（金）、第1回地方労福協会議が東京グランドホテルにおいて、全国の代表者が参加し開催されました。

会議では、各ブロックの活動報告の後で、2017年度「生活底上げ・福祉キャンペーン」の取組集約と「奨学金問題の先進的取り組み事例報告」（島根県・大分県）、ライフサポートセンターの実態調査結果の報告と「先進県事例報告」（北海道・新潟県）がされました。

また、「消費者被害の防止・救済と地方消費者行政の充実に向けて」と題して、全

国消費者団体連絡会議・小林事務局次長

より、「NPO法人消費者スマイル基金について」、「消費者契約法の開始について」、「地方消費者行政の充実について」現状と課題についての講演がありました。

2日目の会議では、「生活困窮者自立支援制度と生活保護制度の見直しの現状と課題」と題して、首都大学東京の教授・岡部卓氏より、生活困窮者自立支援制度の見直しは一定の評価ができるものとなつた（自立相談支援事業・家計相談事業・就労準備支援事業の一体的実施の場合、家計相談事業の補助率を変更の2分の1から3分の2に引き上げ等）。

しかし、生活保護制度の見直しは、そもそも厚生労働省の検証手法に問題があ

中央労福協活動計画決定



なお、中央労福協・神津会長から、「私たちは、主張すべきは主張を続けていつの日か日の目を見るために努力することが重要である。労福協の重要性をみんなで認識しよう」との挨拶が忙しい日程の中で会議に駆けつけてありました。

最後は、2018年度活動計画を全体で確認し終了しました。

り、当事者・利用者の「声」（実態・意識・要望）が不在であり大変問題のある改正内容となっている。いずれも現在開会中の国会で法案が成立する方向となつてゐるとの報告がありました。とりわけ、私たちがどのようなことを行わなければならぬか。と、労福協に対しての叱咤激励が込められている内容でした。

この度、<夢咲C1ub>は「新潟ろうきん」と「夢咲C1ub」双方の認知浸透を目的に、<新潟ろうきん夢咲C1ub>へと名前が変わりました。

<新潟ろうきん夢咲C1ubからのお知らせ>

この度、<夢咲C1ub>は「新潟ろうきん」と「夢咲C1ub」双方の認知浸透を目的に、<新潟ろうきん夢咲C1ub>へと名前が変わりました。

これまで同様、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

<新潟ろうきん夢咲C1ub事務局>

新潟県労働金庫本店5階

連絡先 TEL 025-201-8765

FAX 025-201-8755

E-mail : yumesaki@n-yume.jp

新潟ろうきん福祉財団 「自立した持続可能な地域社会創造事業」

にいがた旬塾2018

事前申込み
参加無料

県内各地で地域おこしに携わる人々が現地で活かせる知識を得ることで、活動のすそ野を広げる機会を提供することを目的として今年も実施します。

2018年5月下旬～6月中 県内3会場で開催予定！

新発田市・柏崎市・加茂市

※開催日時・会場が決定しない「新潟ろうきん福祉財団」ホームページにてご案内いたします。みなさまの参加をお待ちしております。

一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団
URL <http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

<新潟ろうきん夢咲C1ubからのお知らせ>

この度、<夢咲C1ub>は「新潟ろうきん」と「夢咲C1ub」双方の認知浸透を目的に、<新潟ろうきん夢咲C1ub>へと名前が変わりました。

これまで同様、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

<新潟ろうきん夢咲C1ub事務局>

新潟県労働金庫本店5階

連絡先 TEL 025-201-8765

FAX 025-201-8755

E-mail : yumesaki@n-yume.jp

イメージキャラクター
ふーどん

大使の4人は、会場でもフードドライブを呼びかけ、集まつた食品を長岡センターの山崎さんに手渡しました。

タスキをかけた「ひなキャベ」の4人は、「フードバンクの活動は、まだまだ知られていない。僕らなりに音楽で広めていきたい」「日本における現状はあるのにはない」状況が続いている。物はもちろん、人という部分でも多くの方に関わってもらいたい」、「お笑い芸人としてテレビ・ラジオの出演もある。芸能活動を通じでより多くの方にフードバンクを知つてもらえるよう取組」など大使としての決意が語られました。

大使に任命されたのは、アコースティックデュオ「ひなた」と、お笑いコンビ「ヤングキャベツ」の長岡市出身の4人。観客など約200人の参加者を前に、フードバンクにいがたの高見理事長から任命証を受け取りました。

タスキをかけた「ひなキャベ」の4人は、「フードバンクの活動は、まだまだ知られていない。僕らなりに音楽で広めていきたい」「日本における現状はあるのにはない」状況が続いている。物はもちろん、人という部分でも多くの方に関わってもらいたい」、「お笑い芸人としてテレビ・ラジオの出演もある。芸能活動を通じでより多くの方にフードバンクを知つてもらえるよう取組」など大使としての決意が語られました。



フードバンクにいがた大使任命式 「ひなた」と「ヤングキャベツ」を任命

新潟ろうきんが運営する
新潟県の中古住宅・リフォーム
総合情報サイト

住まいるペ~じ
SMILE PAGE

サイトは
こちらから

<http://smilepage.niigata-rokin.or.jp/>

新潟ろうきんの女性応援サイト

RaRa♪Life ラ・ラ・ライフ

ランチ情報から子育て、マイホーム、お金の学びなど、
新潟の女性の暮らしに役立つ情報発信サイトです。
がんばるワタシの応援バンク、新潟ろうきんがお届けします。



サイトは
こちら
から



<http://www.raralife.jp/>

1月14日(日)、2018年民団新潟県地方本部の新年会が新潟東映ホテルにて、国会議員、行政関係者をはじめ多くの来賓など迎え、100名余が参加され盛大に開催されました。

開会にあたり李鐘海団長から、民団中央本部団長のメッセージを含め韓日関係の難しい状況、朝鮮半島情勢に触れながらも、平昌オリンピック・パラリンピックを成功させ、民団が韓日の架け橋としての役割を果たしていく決意が述べられました。続いて、昨年12月に就任された初の女性総領事・鄭美愛氏から、文在寅・韓国大統領の新年のメッセージを両国語で披露され挨拶されました。

来賓には、篠田新潟市長をはじめ、国会議員・県議・市議など、各界より多くの方々が参加されました。乾杯後は、弾「DAN」(本田音楽事務所)による伝統の日本音楽がもつ、「躍動」と「情緒」を津軽三味線のアンサンブルと唄により、佐渡おけさなど地元・新潟の民謡で奏てる楽しい交流の時間となり会場は最高潮の盛り上がりとなりました。



2018年民団新潟県地方本部新年会



“働く”に関する不安や悩み 連合新潟が解決します!!

クラシノ
ソコアケ
応援団!

連合新潟は、新潟県内約12万人の労働者で組織する労働組合のナショナルセンターです。



職場で困っている
ことありませんか?

無料
秘密厳守!!

なんでも労働相談ダイヤル
 0120-154-052

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

メールからも相談できます。詳しくは [連合新潟](#) 

地区労福協からのたより

柏崎 ワーク&ライフセミナー 「ひらかしわざき」

柏崎地区労福協主催の「ワーク&ライフセミナー「ひらかしわざき」が2月25日(日)、柏崎市市民プラザにて開催され、組合員・市民など約100人が参加されました。

開催したセッションは左記のとおりです。

- ①職場のメンタルヘルス講座、②防災からあそBOSAIへ親子で楽しく学ぶ防災講座、③誰でも手軽にヨガ体験講座、④ながら筋トレからだスッキリ講座、⑤ものづくり工作教室。

セッション参加者からは座学だけでなく、からだを動かす講座もあり、楽しんで受講できたとの声も聞かれました。また、セッション終了後は親子で参加された皆さんから楽しんでいただけるよう、茶話会を開催し、地産スイーツと地元で活躍するカフェのコーヒー等を楽しみ、アルコールの席とは一味違った、参加者の交流を図りました。

柏崎地区労福協では今回のセミナーと同様の形式で、2017年6月に「ライフサポートフェス」と銘打った企画を開催しましたが、いずれも参加者から好評を得ており、次年度以降も同様の企画を得てお

計画する予定で、一層の参加者の拡大を図り、労福協運動の裾野を広げていきたないと考えています。



茶話会の様子

県央 労福協 ライフプランセミナー

県央地区労福協が主催する「2017年度 ライフプランセミナー」が3月7日(水)三条市勤労青年ホーム(ソレイユ三条 新潟県労福協 指定管理施設)で、「認知症サポーター養成講座」と題して開催。昨年の「認知症の基礎知識と予防のヒント」に続き2年連続で大きな課題、

- ・参加者 68名(一般参加者含む)
- ・講師 ケアプランセンター三条社協 キヤラバンメント 石附 克也氏
- ・「認知症を学び地域で支えよう」
- ・「認知症サポーター養成講座」
- ・開催日 3月7日(水)

11月18日(土)



平成30年度活動予定

- 「チャリティーコンペ」6月頃予定
- 「生活安心セミナー」7月頃予定
- 「ライフプランセミナー」10月頃予定

小千谷 地区労福協活動報告

7月8日(土)

講演後、参加者はサポーターの証であるオレンジリングを受け取り、「認知症について知ることができた」「家族だけで悩まず、いろんな支援が必要」などの声がありました。



県央ライフサポートセンターには年間250件を超える相談が寄せられており、その中には、認知症関連の相談もあります。今後も構成組織のみなさんや地域のみなさんに関心のあるテーマについて、セミナーの開催を企画していきます。

8月5日(土)

「第3回チャリティーコンペ」を当間高原CCにて開催し、総勢12名の方にご参加頂きました。当日は、物凄く暑い炎天下でしたが、熱中症に耐えながら、楽しく交流をはかることができました。また、参加者からいただいたカンパ金については、援金(九州北部豪雨)に寄付をしました。

日本赤十字社「平成29年7月大雨災害義援金」(九州北部豪雨)に寄付をしました。「火災共済」を題材にしたセミナーを実施しました。

あなたの職場は大丈夫?

－健康で安全に働き続けるために－

公益社団法人 新潟県自治研究センター

【2017年度報告書 発刊】

労福協は、勤労者の生活・家庭・仕事・環境など様々な課題について、働く者の意識高揚と活動に資することを目的に、毎年にわたり「働く者」をキーワードとして関連する調査・研究事業を行ってきている。当センターは、労福協からの委託を受け、テーマを協議し調査・研究を行っている。

これまで、「災害避難と就労」「人口減と雇用」「介護」「食生活」「教育」など、勤労者の暮らしに係わる視点で調査・研究を行ってきた。

17年度は、「勤労者の健康と医療」をテーマとして進め、2月末に報告書を発刊したところである。

【活かせ・労働安全衛生法】

今回の調査・研究の重要な視点は、「勤労者の健康確保」である。

近年、就労環境はIT化やオートメーション化などの合理化により変化する中で、長時間労働が社会問題と

安法制定過程における論点と今日的な課題について「斎藤喜和のテーマ別報告等を執筆掲載したところである。

詳細は、労福協ホームページに掲載さ

れたが、アンケート回答を見るとき、「職場による格差」や「形骸化している労安対策」の言葉が率直な感想であった。

日本の労働法制は、労働基準法をはじめ幾つかの法律によって構成されて

いるが、中でも労働安全衛生法は、労働者の安全と健康を日常的に確保する

ための極めて重要な法律であり、成立に向けた労働組合等の努力の成果でもある。

ご承知の通り、同法では労使の互いが義務と責任を担い果たすことにより、労働による傷病を未然に防ぐ狙いがある。

安全な職場づくりは、労使ともに異論はないものであろう。同法では、職場内の委員会設置・開催を義務付けるなど、具体的な対応も示されている。

何より重要なことは、労使が対等な立場で、協議・実行することにある。

「労使対等」とは、法制で示されていても、現実は容易いなことではないであろう。

そのことを実現するには、働く者がと評論とともに、「勤労者の健康・医療をめぐる現状と課題」田邊直仁県立

大学教授による総括論文、当センター研究主幹メンバーによる「長時間労働からの解放に向けて」柳口敏行、「労

【報告の活用と再点検】
当センターでは、引き続き今年度も「勤労者医療」に焦点をあて、調査・研究を行うこととなつた。

今次報告では、予防措置と政治課題となつてゐる「働き方改革」に焦点をあてたが、今年度は救済措置・職場復帰等をまとめることとしている。

センターでは、職場の学習会等の依頼にも応えることとしているが、ぜひ報告内容のご活用をいただきたいと考

えている。

また、アンケートの詳細データや集計要望にも応えることとしている。ご

(文責・自治研究センター
常務理事 柳口敏行)



 総合生協グループ **コープ・トラベルセンター**
(株)コープサービス

コープ・トラベルセンターは、国内旅行、海外旅行、宿泊プランをはじめ、各種イベント、大会、会議セミナー会場の手配を承っております。



国内旅行



海外旅行



宿泊プラン



セミナー・会議

お申し込み・お問い合わせ

新潟営業所 TEL950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
TEL.025-245-8589

新潟県知事登録旅行業第2-321号 全国旅行業協会正会員 総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝

ZENROSAI NEWS



全労済は「保障の生協」。



支えあう安心。

これからも、もっと大きく。

全労済の住まいの共済

新火災共済・新自然災害共済

こくみん共済

新総合医療共済

新せいめい共済

マイカー共済

自賠責共済

団体生命共済

交通災害共済

新セット移行共済

 **総合生協**
新潟県総合生活協同組合

新潟県では、総合生協が全労済から業務を受託して実施しています。

全労済は、営利目的でない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる

**勤労者のための
信用保証機関です。**

【保証引受の実績】

(2018年2月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高
無担保ローン	39,482件 60,355,169,426円
有担保ローン	11,361件 135,623,424,262円
合計	50,843件 195,978,593,688円

一般財団法人 新潟県労働者信用基金協会

TEL951-8113
新潟市中央区寄居町332番地18



佐藤事務局長 就任あいさつ

はじめまして、佐藤淳と申します。

この度、4月1日より新潟県労福協の一員としてお世話になることになりました。3月末までは新潟総合生協に勤務していました。

この間、労働者共済の取組を通じ働く仲間の助け合いの運動、事業に携わっておりました。その中で生協運動の祖、賀川豊彦の足跡から「自分も本当に困っている。しかし今、この傍らにいる仲間を助けなければ彼は命を落としてしまう。その状況で覚悟をもつて行う行為こそが働く仲間の助け合いである」ということを学びました。

今、働く人、生活する人を取り巻く環境、困窮は益々厳しさを増していると思います。しかし、であれば、そうした状況だからこそ一層、労働者・労働者福祉取組の重要度が増していると感じます。どういったお手伝いが出来るのか、いさか不安もございますが、それ以上にその任務にやりがい、昂ぶりを感じています。どうぞ宜しくお願ひいたします。

今後の日程

4月	28日(土) 第89回県中央メーテー
5月	10日(木) 県労福協チャリティーゴルフ(フォレストGC) 29日(火) 第118回県労福協理事会
6月	4~5日(月・火) 中央労福協全国研究集会(岡山県岡山市) 14~16日(木~土) 東部ブロック第12期福祉リーダー塾(静岡県) 20日(水) 県労福協第39回定時総会・創立30周年記念祝賀会
7月	4~9日(水~月) 中国へ国際交流代表団派遣 13~14日(金・土) 第6期にいがた福祉リーダー塾(新潟市内)
8月	2~3日(木・金) 東部ブロック第218回幹事会・代表者・役員OB交流会(新潟県) 20日(月) 第120回県労福協理事会 26~30日(日~木) ロシアへ国際交流代表団派遣
9月	15日(土) 2018年度未来塾(場所:未定) 17日(月) 第28回労働者駅伝大会(新潟市陸上競技場)
10月	25~29日(木~日) 韓国へ国際交流代表団派遣 13日(土) 2018年にいがたワーク&ライフフォーラムin上越

新潟県労福協第39回 定時総会および 創立30周年記念事業の開催



6月20日(水)、新潟市東映ホテルにおいて以下の内容で総会および記念事業を開催しますので、多数の皆様からの参加をお願いいたします。

1. 第39回定時総会	(1) 時間 13時00分	(2) 内容 ① 来賓挨拶 • 新潟県知事 • 新潟市長
2. 第1部 記念講演	(1) 時間 15時00分	(2) 講師 社会福祉法人イエス団 賀川豊彦記念館参事 西 義人氏 (3) 演題 『共済の父・労働組合の母 賀川豊彦氏の思想と実践について』
3. 第2部 記念祝賀会	(1) 時間 17時00分	(2) 内容 ② アトラクション • 東部ブロック会長 • 中央労福協会長 • 新潟市長